

テーマ

鳥取県における気象情報センシングネットワークの構築

発表者

今井 正和 鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科 教授

概要

最近の情報機器の小型化により、物理量を計測するセンサを容易に TCP/IP のような複雑な通信手順を必要とするインターネット / LAN に直接接続できるようになってきている。このような背景のもと本研究では、鳥取県における温度、湿度、風向、風速等のデータをセンサからネットワークに送出し、ネットワークに接続されたコンピュータがそれを収集・蓄積するセンシングネットワークシステムの構築を目的とする。

はじめに

- ・センサと小型コンピュータの発達
- ・ネットワークの浸透→ユビキタスネットワーク

鳥取県内の多数の観測地点からネットワークを用いてデータ収集、蓄積するセンサネットワークの構築を目的とする

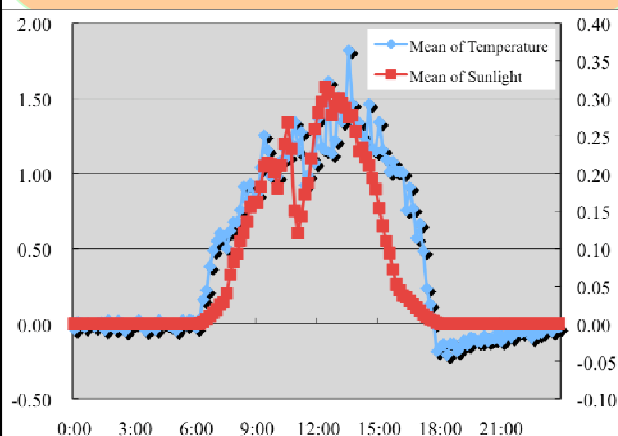
内容

- ・気温、湿度、風向、風速、雨量を小型コンピュータでネットに送出
- ・インターネット上に設置されたサーバコンピュータにデータを蓄積
- ・サーバから必要なデータの取得
- ・データの可視化
- ・非常に高密度なデータの観測

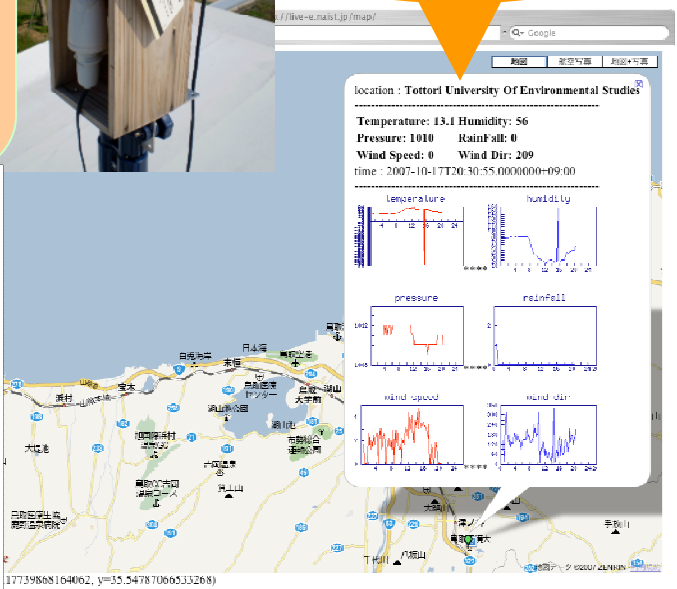
Live E!と連携した活動

成果

- ・鳥取環境大学に「日向のセンサ」と「日陰のセンサ」を設置
- ・2つの温度センサの出力から、日照量を推定できる可能性を確認
- ・鳥取県内のセンサからのデータ蓄積を主目的としたサーバの設置運用の開始



GoogleMap を利用したデータ表示の例



【来場者へのメッセージ】

- ・ネットワーク技術を活用した高密度な観測が行えます。
- ・県内で観測点を増やしていきます。ご協力をお願いします。

連絡先：鳥取環境大学環境情報学部情報システム学科 教授 今井 正和

鳥取市若葉台北1-1-1 TEL.0857-38-6791 E-mail:imai@kankyo-u.ac.jp

分野

情報